

地域おこし協力隊が 三原で過ごす日々

みはライフ!

市外から移住した9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月の担当は
すがい 菅井 皆空
です!



【出身】広島市
【趣味】ドライブ・キャンプ
・DIY
【活動エリア】市内全域
【活動テーマ】中心市街地の活性化

▲令和7年の半どん夜市で出店
「Curry NaNa」

中心市街地の再生に 向けた空き店舗活用

令和7年12月に着任し、中心市街地の活性化に取り組んでいます。現在は、空き店舗の現状を把握し有効活用できるよう、「空き店舗マップ」の作成を進めています。

あわせて、Curry NaNaとして市内の各種イベントに出店し、地域の人たちとの接点を増やしています。今後は、こうした活動で得たつながりを生かし、中心市街地での出店や空き店舗の活用に主体的に関わり、継続的にぎわいづくりに貢献したいです。

また、将来的には、しまなみ街道への玄関口として、サイクリストや観光客、地域の人たちが気軽に立ち寄れる拠点を作る「サイクルラウンジ構想」も検討しています。皆さんと一緒にまちを面白くしていけたらうれしいです。気軽に声を掛けてください!

地域おこし協力隊の活動は市公式noteで!



問 地域企画課
TEL 0848-67-6011

なるほど!



れきみん・虎の巻

とらのまき

・第九号・

◆文化課が市の文化財などを分かりやすく紹介◆

歴史民俗資料館・うきしろミュージアム

私の推し展示

① 大賞はナウマンゾウ

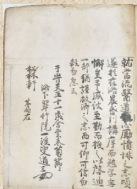
うきしろミュージアムでは、来館いただいた皆さんに、他の人に薦めたい展示を募る「私の推し展示」を実施しています。令和7年度が一番人気は「ナウマンゾウ」でした。

ナウマンゾウは約1万5千年前まで生息していた旧石器時代を代表する動物です。展示している巨大なイラストと本物の骨の化石は、「えっ?日本に?三原にゾウがいたの?」という驚きとともに、子どもを中心に多くの人に興味を持ってもらえます。この他にも、大人気の「刀体験」や「三原城の模型」などが「私の推し展示」として選ばれています。ぜひ資料館で実物を見てください。



② 県指定重要文化財「紙本墨書啓迪集」

「啓迪集」は、戦国時代から安土桃山時代にかけて毛利元就の病気を治療するなどして活躍した名医・曲直瀬道三が書いた日本の医学史上極めて重要な医学書です。「啓迪」とは「教え導く」という意味で、道三が開いた医学校の名前でもあります。この「啓迪集」は、小早川隆景の侍医(主治医)を務めた水野松林軒が所蔵していました。現在は県の重要文化財に指定されています。7日(日)まで展示室3で展示しているのので、この機会に訪れてください。



問 文化課
TEL 0848-64-9234
FAX 0848-67-5912

市長 × 不妊治療

令和8年度、市独自の補助を拡充しました。



▲一般不妊治療



▲特定不妊治療

近年、「不妊治療」という言葉を聞く機会が増えていきます。妊娠を望む健康な男女が、避妊をせずに一定期間夫婦生活を続けているにもかかわらず、1年間妊娠に至らない場合、一般に「不妊症」と定義されています。

日本では、夫婦の約4・4組に1組が不妊に悩んでいるといわれており、決して特別なことではありません。不妊の原因は、女性側・男性側のいずれにも、あるいは双方に関係する場合もあり、その内容もさまざまです。

「もしかして」と感じたときには、早めに産婦人科などの専門機関に相談することが、これからの人生設計を考えるうえでも大切です。また、本市ではLINEを活用した健康相談窓口を設けており、気軽に利用できます。

一方で、不妊治療に向き合っている人の中には、そのことを周囲に打ち明けづらいと感じている場合も少なくありません。また、治療を続けてもなお、お子さんに恵まれないという現実に向き合っている人が、私たちの身近にいる可能性もあります。



◀LINE相談画面(イメージ)

こうした状況について、市民の皆さんに理解を深めていただくことが、互いに支え合う社会につながるかと考えています。

本市では、不妊治療に取り組む人たちを応援し、経済的負担の軽減を図るため、令和8年度より支援制度を拡充しました。安心して治療に向き合える環境づくりに、引き続き取り組みます。全ての市民にやさしいまちの実現に向けて、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

Kia Ora! MIHARA

ニュージーランド出身の国際交流員コラム

● Vol.33 ●



CIR(国際交流員) ジェイク・ロコップ

知ってる?

ニュージーランド ニュージーランドの活火山

南西太平洋の「環太平洋火山帯」に位置するニュージーランドには現在、海面上に11の活火山があります。最も活発な火山は、北島北東部のプレンティ湾にあるファカアリ(ホワイト島)です。この火山は、2019年に噴火を記録しています。

Information for foreign nationals in Mihara

◀ CIRが三原の魅力などを発信中! ▶

Instagram & Facebook



液状化による泥の清掃ボランティアをする友人

災害の中で見えた絆

ニュージーランドは、美しい景観や低い人口密度、比較的低い犯罪率で、世界でも安全で平和な国として認識され、2025年の世界平和度指数では、163カ国中3位に入りました。一方で、地震や洪水などの自然災害が多く、年間の被害額は平均約55億NZドル(約5,173億円)にも及びます。

2011年、私は高校生の時にクライストチャーチ地震を体験しました。あの恐怖は今でも忘れられませんが、それ以上に地域の皆さんが助け合う姿が強く印象に残っています。電気と水道が使えない中でも物資を分け合い、私も友人たちと液状化現象による被害の復旧作業に取り組みました。大きな被害の中で、地域の強いつながりを実感した出来事でした。